

軟膏基剤

日本薬局方

精製ラノリン

Purified Lanolin

3. 組成・性状

3.1 組成

成分	1g中 日局 精製ラノリン 1g ヒツジ <i>Ovis aries</i> Linné (<i>Bovidae</i>) の毛から得た 脂肪様物質を精製したものである。
----	--

3.2 製剤の性状

性状	本品は淡黄色～帯黄褐色の粘性の軟膏様の物質で、敗油性でない僅かに特異なおいがある。本品はジエチルエーテル又はシクロヘキサンに極めて溶けやすく、テトラヒドロフラン又はトルエンに溶けやすく、エタノール(95)に極めて溶けにくい。本品は水にほとんど溶けないが、2倍量の水を混和しても水を分離せず、軟膏様の粘性がある。融点: 37～43℃
----	---

4. 効能又は効果

軟膏基剤として調剤に用いる。

6. 用法及び用量

軟膏基剤として調剤に用いる。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
皮膚	接触皮膚炎

22. 包装

500g (ポリエチレン容器)

24. 文献請求先及び問い合わせ先

健栄製薬株式会社 学術情報部
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号
電話番号 (06) 6231-5822
FAX番号 (06) 6204-0750

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉長町1593

26.2 発売元

 健栄製薬株式会社
大阪市中央区伏見町2丁目5番8号